

こんにちは。

九月もあっという間に過ぎ、オーストラリアでの生活も残り二か月弱となりました。こちらは春を迎え、とても暑くなってきました。春というのも名ばかりで、気温は日本の夏とあまり変わりません。プールや海水浴を楽しめる気候になったので嬉しいです。

先月の半ばにターム3を終え、二週間のターム間休暇がありました。休暇中は、ホストファミリーと七泊八日の旅行へ行きました。旅行先はAirlie Beachというクイーンズランド州のウェットサンデーコーストにある大きなリゾート地で、とても楽しい時間を過ごすことができました。クルーズでグレートバリアリーフやホワイトヘブンビーチにも行き、シュノーケリングや海水浴を楽しみました。世界遺産にも登録されている、グレートバリアリーフの世界最大のサンゴ礁をすぐ近くで見ることができたのは素晴らしい経験だったと思います。他にもホストペアレントが良い成績をとったご褒美として、スピードボートの予約を取ってくれており、ものすごいスピードとスピンで海の上をボートで走りました。中々激しいアトラクションで、顔中の穴という穴に海水が入りましたがとっても楽しかったです。ラストホリデーということでホストファミリーが計画してくれた旅行でした。おいしいご飯を食べたり、きれいな海で泳いだりショッピングをしたり、本当に素敵な思い出になりました。連れて行ってくれたホストファミリーにとっても感謝しています。

また、九月はゼミナール研究報告書の仕上げの月でもありました。私が選んだテーマはオーストラリアと日本の国民司法参加制度についてです。報告書は日本語と英語のどちらで執筆してもよいのですが、私はせっかく留学しているのだからと英語を選びました。法律関係のテーマなので専門用語が多く、途中何度も英語で書くという選択をしたことを後悔しましたが、終わった今、自分の選択は間違っていないと思います。4752単語、総ページ数15ページにわたるとても長い研究報告書になりましたが、それを全て自分で計画し執筆したこと、そしてやり切ったことは必ず将来に活きると思っています。大学で法律関係のことを学びたいと思っているので、高校生のうちから興味のある分野を深く研究できたことを誇りに感じています。締め切り間近は一日12時間近く作業することはざらで、前日は一睡もしないで作業していましたが今はそれもいい経験だったと感じています！とにかく、留学プログラムの中で一番強敵だったゼミナール研究に満を持して戦いを挑み、辛勝したことはオーストラリアに来てから最もうれしかったことのひとつです。

毎度留学状況報告書を書く時期が来るたび、残りの留学期間の少なさを思い知ります。留学が始まった日は昨日のここのようなのに、あと二か月したら帰国しなければいけないなんて信じられません。残り二か月も瞬く間に過ぎてしまうのはわかっているので、一日一日を大切に、そして全力で過ごすことをここに約束します。後悔の残らないように頑張ります。